

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

(障害者(児)施設・事業所)

1 評価機関

| | |
|--------|----------------------------|
| 名 称 | 特定非営利活動法人 コミュニティケア街ねっと |
| 所 在 地 | 千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7 |
| 評価実施期間 | 2022年 10月 1日～ 2023年 3月 15日 |

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

| | | | |
|---------------|--|-------|--------------|
| 名 称 (フリガナ) | 特定非営利活動法人しゃくやく会 A型事業所 セットアップ トクティヒエイリカツドウハウジン シャクヤクカイ エーガタジギョウショ セットアップ | | |
| 所 在 地 | 〒294-0225 千葉県館山市佐野1037 | | |
| 交通手段 | 乗用車・送迎車 | | |
| 電 話 | 0470-23-2636 | FAX | 0470-23-2671 |
| ホームページ | https://shakuyakukai.com | | |
| 経 営 法 人 | 特定非営利活動法人しゃくやく会 | | |
| 開設年月日 | 平成21年12月 | | |
| 事業所番号 | 1213600172 | 指定年月日 | 令和3年12月1日 |
| 提供しているサービス | 就労継続支援A型 | | |

(2) サービス内容

| サービス名 | 定員 | 内容 |
|--------------|-----|---------------|
| 就労継続支援 A型 | 20名 | 一般廃棄物収集運搬選別処理 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

(3) 職員（スタッフ）体制

| 職 員 | 常勤職員 | 非常勤、その他 | 合 計 | 備 考 |
|-------|------|---------|-----|-----|
| | 4名 | 1名 | 5名 | |
| 専門職員数 | | | | |
| | | | | |

(4) サービス利用のための情報

| | | | |
|----------|------------------------------------|----------------|--|
| 利用申込方法 | 利用者の所属する市町村、他の障害福祉サービス事業者、支援相談事業所等 | | |
| 申請窓口開設時間 | 9：00－16：00 | | |
| 申請時注意事項 | 必ず市町村と連絡を取り受給者証を取得する。 | | |
| 相談窓口 | サービス管理責任者 石井達哉 | | |
| 苦情対応 | 窓口設置 | サービス管理責任者 石井達哉 | |
| | 第三者委員の設置 | | |

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

| | |
|---------------------|---|
| サービス方針 (理念・基本方針) | 利用者の意思及び人格を尊重して常に当該利用者の立場に立った適切な指定就労継続支援A型の提供を確保することを目的とする。 |
| 特 徴 | 決められたシフトで出勤し決められた就労マニュアルで一日4時間から6時間週20時間を目標 |
| 利用（希望）者 へのPR | 就労の作業所は山の上にあるので送迎車でGHとか、館山駅、希望の場所まで送迎する。 |

福祉サービス第三者評価総合コメント

評価機関名 コミュニティケア街ねっと

| |
|--|
| 特に力を入れて取り組んでいること(評価の高い点) |
| <p>循環型リサイクル事業で地域共生、仕事と生活の充実を図り、自立に向けて取り組んでいる</p> <p>自立を促す「就労継続支援A型事業」と「共同生活援助事業」を環境保全・循環型社会貢献事業を融合させ、地域の中で誰もがその人らしく生活できる共生社会の実現に向けて取り組んでいる。日常生活に必要な知識と能力向上を目指した支援と中間処理 認可工場として、ガラス・ビン選別業務の実施、分別されたガラス・ビン・金属類をリサイクルするために搬出作業、解体処理など安全管理のもとで、自立支援をしている。</p> <p>環境衛生に向けて地域と連携を図り、利用者の社会性を高めるよう支援している</p> <p>ごみ処理にかかわる委託業務として行政機関と連携し、地域に根差した活動を積極的におこなっている。資源ごみの有効活用や粗大ごみの分別作業など地域環境の衛生を担っている。その他に、地域の学校5校の社会科見学(ゴミ収集・運搬などの作業様子)を受け入れるなど、地域との関係作りをしながら利用者が社会の中で生活ができるように支援している。</p> <p>利用者の作業が安全におこなわれるように、十分に配慮した対策をしている</p> <p>作業内容であるガラス・ビンの選別・解体・収集運搬などの基本的な手順を明確にして、利用者が働くうえで安全に作業ができるように対策をしている。作業開始時には、一人ひとりのヘルメット・ゴーグル・安全手袋・靴などの装着を確認してから作業をおこなっている。事故が発生した場合は、医療センターなどの機関と連携を図り適宜に対応し、利用者が安心・安全に働けるよう労働環境を整備している。</p> |
| さらに取り組みが望まれるところ(改善点) |
| <p>危険な作業時においても、安全第一に適切に指導な指導を実施することが求められる</p> <p>ガラス・ビン・金属類の分別、搬出作業など、危険を有する仕事のため、安全を守るための注意や指導が強い表現になることもある。そのような状況においても、不適切な言動をしないように対策が求められる。利用者との仕事や休憩中のコミュニケーションで、利用者の意向や要望を把握し、利用者の権利を守り、意思を尊重することを期待する。さらに、①従業者への虐待防止研修の実施②虐待防止委員会の設置と委員会での検討結果の従業者への周知③虐待防止責任者の設置等も必要と思われ、検討が期待される。</p> <p>事業所の「ありたい姿」、中長期計画を明確化し、計画的組織運営が期待される</p> <p>理念、方針、中長期計画の明文化し、事業展開、利用者本位の支援方針、職員の人事方針などを明確化することが期待される。方針に沿って、また、「安全と安心」を安定的に継続性をもって維持できるよう、各種マニュアルの整備やマニュアルや手順に沿って実施した支援、仕事内容の記録の整備も必要と思われる。また、利用者及び職員の意見を反映した意思決定ができる仕組みを構築するとともに、適切な進捗管理もされるとよいと思われる。</p> <p>利用者の状況を把握・分析して、多角的に個別支援計画を作成することが望まれる</p> <p>個別支援計画の作成にあたって、利用者の生活歴や本人・家族の要望を把握しているが、さらに個別支援に関する定期的な会議を開催したり、支援日誌などからも個々の状況を分析し、個別支援計画に反映するとよいと思われる。また、定期的に利用者や個別支援計画の内容を確認しながら、支援目標が達成されているか検討し、利用者の望む生活の実現に向けて支援することが期待される。</p> |

| |
|---|
| <p>A型事業所として毎日の朝礼でケガなく、事故なく、トラブルなく、諸注意を管理者、職員、利用者とともに毎日繰り返して来た事を評価していただき、今後事業を進める為の糧としていきたい。</p> <p>●改善点として、毎日搬入して来るガラス・ビン・金属類を安全かつ的確に処理しているが、処理工程の中で危険を感じる動作がある場合に、強い注意だけにしない様に適切に指導し対応していきたい。</p> <p>●ご指摘の通り、中長期計画を明文化した事業展開、支援方針の内容の記録を作成し、事業所運営につなげていきたい。</p> <p>●多角的な個別支援の作成</p> <p>声掛け見守り等かねた面談を充実させ、支援方針を確認しながら行っていきたい。</p> <p>会議・日誌等による支援目標の分析を管理者職員で把握し、反映していきたい。</p> <p>管理者・職員・利用者は、一日の仕事と同じ時間、工場ですごし体調・作業能力が把握出来るので、利用者の望む支援目標につなげていきたい。</p> <p>職員を増やし、不足している会議・研修・記録作成等を充実させていきたい。</p> |
|---|

福祉サービス第三者評価項目の評価結果（障害者（児）施設・事業所）

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 項目 | 標準項目 | | | | |
|---|------------------|---|--------------------------|--|--|--|-----|-----|
| | | | | ■実施数 | □未実施数 *非該当数 | | | |
| I | 福祉サービスの基本方針と組織運営 | 1 理念・基本方針 | 1 理念や基本方針が明文化されている。 | 2 | 1 | | | |
| | | | 2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。 | 1 | 2 | | | |
| | | | 3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | 1 | 2 | | | |
| | | 2 計画の策定 | 中・長期的なビジョンの明確化 | 4 事業環境を把握した中・長期計画に基づく事業計画が作成されている。 | 1 | 3 | | |
| | | | | 5 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。 | 1 | 2 | | |
| | | | | 6 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。 | 1 | 2 | | |
| | | 3 管理者の責任とリーダーシップ | 管理者のリーダーシップ | 7 理念の実現や質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。 | 2 | 1 | | |
| | | | | 8 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | 2 | 1 | | |
| | | 4 人材の確保・養成 | 人事管理体制の整備 | 9 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。 | 1 | 2 | | |
| | | | | 10 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | 0 | 4 | | |
| | | | 職員の就業への配慮 | 11 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。 | 2 | 1 | | |
| | | | | 12 福利厚生に積極的に取り組んでいる。 | 1 | 2 | | |
| | | | 職員の質の向上への体制整備 | 13 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、人材育成に取り組んでいる。 | 0 | 4 | | |
| | | | | 14 定期的に教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | 0 | 3 | | |
| | | II | 適切な福祉サービスの実施 | 1 利用者本位の福祉サービス | 16 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している。 | 3 | 3 | |
| 17 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。 | 1 | | | | 3 | | | |
| 18 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。 | 1 | | | | 3 | | | |
| 2 サービスの質の確保 | サービスの質の向上への取り組み | | | 19 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | 2 | 3 | | |
| | | | | 20 サービス内容について定期的に評価を行い、改善すべき課題を発見し見直している。 | 0 | 2 | | |
| 3 サービスの開始・継続 | サービス提供の適切な開始 | | | 21 事業所業務のマニュアル等を作成し、また日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | 2 | 2 | | |
| | | | | 22 施設利用に関する問合せや見学に対応している。 | 2 | 0 | | |
| 4 個別支援計画の策定 | 個別支援計画の策定・見直し | | | 23 サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。 | 3 | 0 | | |
| | | | | 24 一人ひとりのニーズを把握して個別支援計画を策定している。 | 2 | 2 | | |
| | | | | 25 個別支援計画の内容は適切であるかの評価・見直しを定期的に実施している。 | 1 | 2 | | |
| | | | | 26 利用者のサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。 | 1 | 2 | | |
| | | | | 5 実施サービスの質 | 項目別実施サービスの質 | 27 【個別生活支援】日常生活上の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。 | 非該当 | 非該当 |
| | | | | | | 28 【居住・入所支援】居住・入所施設において、日常生活の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。 | 非該当 | 非該当 |
| | | | | | | 29 【日中活動支援】利用者が自立した生活を地域で送ることができるよう、日常生活訓練や機能訓練や生活についての相談等の支援を行っている。 | 非該当 | 非該当 |
| 30 【就労支援】就労に必要な知識の習得や能力向上のための訓練等を行い、就労の機会の提供を行っている。 | 2 | | | | | 4 | | |
| 6 安全管理 | 利用者の安全確保 | 31 利用者を尊重したコミュニケーション支援を行っている。 | 2 | 3 | | | | |
| | | 32 利用者の健康を維持するための支援を行っている。 | 3 | 1 | | | | |
| | | 33 利用者の家族等との連携、交流のための取り組みを行っている。 | 1 | 2 | | | | |
| | | 34 預り金について、適切な管理体制が整備されている。 | 非該当 | 非該当 | | | | |
| 7 地域との交流と連携 | 地域との適切な関係と連携 | 35 感染症の発生時などの対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | 0 | 3 | | | | |
| | | 36 事故などの利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。 | 1 | 2 | | | | |
| | | 37 緊急時（非常災害発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | 3 | 3 | | | | |
| 計 | | | | 50 | 74 | | | |

項目別評価コメント

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 *非該当（提供していないサービス）

| 項目 | 標準項目 |
|--|---|
| 1 理念や基本方針が明文化されている。 | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針が文書(事業計画等の法人・事業所内文書や広報誌、パンフレット等)に明文化されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 理念・方針には、法の趣旨や人権擁護、自立支援の精神が盛り込まれている。 <p>(評価コメント)「地域に貢献、地域と共生」を大切に、運営方針等を定めている。利用者の特性に合わせて、就労スキルをアップさせる場を提供し、障害者と健常者の共生を目指している。</p> |
| 2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 <input type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。 <p>(評価コメント)朝礼や日常のコミュニケーションによって「安全第一」で毎日利用者一人ひとりに合った支援を実施して、就労スキルアップを図っている。理念や基本方針は、誰もが見やすい所に掲示し、会議等で全職員に周知することが求められる。</p> |
| 3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解し易い資料を作成し、分かり易い説明をしている。 <input type="checkbox"/> 理念・方針を利用者や家族会等で分かり易く説明し、話し合いをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。 <p>(評価コメント)朝礼や日常のコミュニケーションを通して、利用者本位に自立へのサポートに努めている。今後は、理念や基本方針を誰もが見やすい場所に掲示するなどして、会議等で利用者等に周知することが望まれる。</p> |
| 4 事業環境を把握した中・長期計画に基づく事業計画が作成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉事業の全体や地域動向について、具体的に把握している。 <input type="checkbox"/> 事業計画には、環境把握に基づく中・長期計画の内容を反映した各年度における事業内容が具体的に示されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画は、実行可能かどうか、具体的に計画することによって実施状況の評価を行える配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 事業計画及び財務内容を閲覧に供することを明記した文書がある。又は、閲覧できることが確認できる。 <p>(評価コメント)入札によって事業継続が決定される特性はあるが、行政が定める一般廃棄物処理に関して必要な施策を推進するための、総合的かつ中長期的な基本計画に沿って、事業所としての中長期計画の立案が求められる。福祉ニーズ対応、環境保全・循環型社会貢献事業展開について、中長期計画で明確にし、それに基づき、利用者本位の支援、職員のキャリアパス、安全に取り組む施策、BCP(事業継続プラン)など、中長期的な視点で計画することが期待される。</p> |
| 5 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。 <input type="checkbox"/> 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状の反省から重要課題が明確にされている <p>(評価コメント)中間処理 認可工場として、ガラス・ビン選別業務を実施している。安全で正確な業務が求められる中で、重要課題を明確化し、収集運搬選別処理、金属選別処理(選別作業)、分別されたガラス・ビン・金属類リサイクルのための搬出作業、解体処理などを実施している。事故がない作業管理を重要課題としてあげ、改善活動に取り組んでいる。今回の福祉サービスの第三者評価で改善課題を抽出し、改善に活かそうとしている。</p> |
| 6 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員と幹部職員が話し合う仕組みがある。 <input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題の決定過程が、全ての職員に周知され、一部の職員だけで行われていない。 <p>(評価コメント)日常のコミュニケーションを密に取ることで、課題や方針を決定するにあたって、職員の意見を反映できるようにしている。必要時には会議や話し合いをおこない、合意形成で意思決定をしている。しかしながら、定期的な会議等の実施や議事録の整備ができていない部分も見受けられた。定例会議の開催と議事録の整備が求められる。</p> |

| | | |
|--|---|---|
| 7 | 理念の実現や質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ■管理者は、理念・方針の実現、福祉サービスの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 ■管理者は、福祉サービスの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 □運営に関する職員、利用者、家族、地域の関係機関の意見を把握して方針を立てている。 |
| (評価コメント)利用者本位に、障害がある人も障害がない人も共に地域の中で生活できる地域貢献型事業を展開している。事業を通して、日常生活に必要な知識と能力向上を目指した支援と就労機会を提供する体制を構築し、管理者は利用者本位の実現に指導力を発揮している。 | | |
| 8 | 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ■管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。 ■管理者は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。 □管理者は、経営や業務の効率化や改善のために組織内に具体的な体制(改善委員会など)を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 |
| (評価コメント)利用者本位の支援と仕事の質の向上を統合した人事管理と、働きやすい環境設定を目指した労務管理、入札で決定されている請負金額と支出による財務管理等の状況を分析して、具体的に取り組んでいる。利用者と職員が役割分担をおこなひ、効率的に品質向上と支援の質の向上に取り組んでいる。今後は委員会等の活動を実施し、記録に残すことが期待される。 | | |
| 9 | 全職員が守るべき倫理を明文化している。 | <ul style="list-style-type: none"> □倫理規程があり、職員に配布されている。 ■従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修を実施し、周知を図っている。 □倫理(個人の尊厳)を周知を図るための日常的な取り組みが確認できる。 |
| (評価コメント)倫理綱領や倫理規程は明文化したり配布していない状況が見受けられた。障害者福祉各団体が規程する倫理綱領に準拠して、研修等を実施している。実践面においては、利用者及び職員には仕事を通して周知している。 | | |
| 10 | 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | <ul style="list-style-type: none"> □人事方針が明文化されている。 □職務権限規定等を作成し、従業者の役割と権限を明確にしている。 □評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 □評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 |
| (評価コメント)地域に密着した収集運搬選別処理、金属選別処理(選別作業)、分別されたガラス・ビン・金属類をリサイクルするための搬出作業、解体処理などを実施しているため、事故、怪我、トラブルなく、地域住民に安心して仕事を任せてもらえることが評価基準となっている。安全で安心できる地域に密着した循環型事業を継続的に実施するためにも、人事方針を明確化し、職員及び利用者が客観的に成長できる仕組みの構築が期待される。 | | |
| 11 | 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ■担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 □把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 ■定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 |
| (評価コメント)社会保険労務士と連携し、利用者及び職員の就業関係の課題について改善するように努めている。利用者及び職員の有給休暇の取得状況、時間外労働などを把握している。また、経営層に、直接気軽に話ができるような環境構築に努めている。経営層は利用者や職員と話し合い、改善点があれば改善に取り組んでいる。計画を立てて進捗管理をおこなうことはできていない。 | | |
| 12 | 福利厚生に積極的に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> □職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 ■希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家を確保している。 □育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得を励行している。 |
| (評価コメント)利用者及び職員の希望に応じて、また、何か精神的な問題があればすぐに連携できる病院がある。社会保険労務士と連携し、法定内福利厚生に取り組んでいる。 | | |

| | | |
|--|--|--|
| 13 | 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、人材育成に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> キャリアアップ計画など中長期の人材育成計画がある。 <input type="checkbox"/> 職種別、役割別に期待能力基準を明示している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。 |
| (評価コメント) 事業所としての人材育成方針を策定し、中長期的な職員のキャリアアップ計画などの人材育成計画や職種別、役割別の期待能力基準を明文化することが期待される。組織内でおこなわれる研修や外部の研修参加、職務を通じて学ぶ研修(OJT)を実施することが期待される。また、目標管理制度や人事考課制度を構築し、職員一人ひとりに合わせた人材育成に取り組むことが望まれる。 | | |
| 14 | 定期的に教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | <input type="checkbox"/> 常勤及び非常勤の全ての新任・現任の従業者を対象とする当該サービスに関する研修計画を立て実施している。 <input type="checkbox"/> 常勤及び非常勤の全ての新任・現任の従業者を対象とする当該サービスに関する個別研修を立て実施している。 <input type="checkbox"/> 事業所全体として個別の研修計画の評価・見直しを実施している。 |
| (評価コメント) 計画的な人材育成が実施されていない状況である。今後は人材育成方針を明確化し、個別の人材育成を計画的に実施することが期待される。また、実施した研修計画、研修内容、成果等を定期的に評価、見直しができると、さらによいと思われる。 | | |
| 15 | 職員の働き甲斐や職場の信頼関係の向上に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> 理念・方針や目標の共有化のため会議等の場で実践面の確認等を行い、職員の理解を深めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、創意・工夫が生れやすい職場づくりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 <input type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。 |
| (評価コメント) 目的別会議や個別面談を定期的実施することで職員の意向を把握し、職員の働き甲斐の喚起、信頼関係構築等の機会になるとよいと思われる。職員の意見を尊重し、利用者本位の支援、職員重視の人事管理、安全と安心の仕組み、地域密着の取り組み、賃金向上などで創意工夫を具体化し、働き甲斐のある組織になることが期待される。 | | |
| 16 | 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している。 | <input type="checkbox"/> 憲法、障害者基本法、障害者権利条約等の基本的な考え方を研修をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の支援では、個人の意思を尊重し、一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援をしている。 <input type="checkbox"/> 職員の不適切な言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 <input type="checkbox"/> 虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の支援では利用者のプライバシーに配慮した支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の羞恥心に配慮した支援をしている。 |
| (評価コメント) 毎日の支援と仕事を通して、利用者本位に権利擁護の意識を高めようと努めている。ガラス・ビン・金属類の分別、搬出作業など、危険を有する仕事のため、安全を守るための注意や指導が強い表現になることもある。そのような状況においても、不適切な言動をしないように、研修や対策が求められる。利用者との仕事や休憩中のコミュニケーションで、利用者の意向や要望を把握し、利用者の権利を守り、意思を尊重することを期待する。 | | |
| 17 | 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。 | <input type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレット等に掲載し、また事業所内に掲示し周知を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対して研修等により周知を図っている。 |
| (評価コメント) 個人情報保護及び守秘義務については、利用契約書、重要事項説明書、運営規程等に記載している。今後は個人情報保護方針をホームページ、パンフレット等に記載したり、事業所内に掲示することも期待される。 | | |
| 18 | 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> 利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 <input type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情が言いやすい環境を整備している。 <input type="checkbox"/> 利用者又はその家族等との相談の場所及び相談対応日の記録がある。 |
| (評価コメント) 日常のコミュニケーションを大切にし、利用者の意向や苦情を把握するように取り組んでいる。今後は、把握した内容を適切に記録したり、満足度を把握する取り組みも期待される。福祉サービスの第三者評価を受審し、利用者の意向や満足度を客観的に把握し、公表することとしている。 | | |

| | | |
|--|---|--|
| 19 | 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ■重要事項を記した文書等利用者等に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され、説明のうえ周知を図っている。 ■相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 □相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 □事後処理に関しては、当該利用者又はその家族等に対して説明し納得を得ている。 □第三者の訪問による権利擁護(オンブズパーソン)制度を整備している。 |
| (評価コメント)重要事項説明書に、要望・苦情等申し立て及び虐待防止に関する窓口を記載している。事業所担当者以外に、行政窓口・障害福祉担当部署、千葉県運営適正化委員会等の住所、電話番号、受け付け時間等を記載している。今後は定期的なマニュアルの見直し、改善活動の記録、第三者委員・オンブズパーソンの設定などの整備が求められる。 | | |
| 20 | サービス内容について定期的に評価を行い、改善すべき課題を発見し見直している。 | <ul style="list-style-type: none"> □事業所全体としてサービスの質や介護方法を検討する会議があり、改善計画を立て実行している記録がある。 □事業所全体としてサービス内容を検討する会議の設置規程等又は会議録がある。 |
| (評価コメント)サービス内容の課題や改善策を話し合い、個別支援計画に反映できるような記録の取り方が必要と思われる。また、課題や改善点など一人ひとり検討する会議を設け、サービス管理責任者と関係職員が評価・見直しをすることが望まれる。 | | |
| 21 | 事業所業務のマニュアル等を作成し、また日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ■業務の基本や手順が明確になっている。 ■分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 □マニュアル見直しを定期的の実施している。 □マニュアル作成・見直しは職員の参画のもとに行われている。 |
| (評価コメント)障害者特性に合わせて適切に支援している。利用者が怪我や事故無く仕事できるように、常にゴーグルや安全手袋などを装備することを基本として作業をおこなっている。今後は、業務に関わるマニュアルの作成や定期的な見直しをするなど整備することが望まれる。 | | |
| 22 | 利用に関する問合せや見学に対応している。 | <ul style="list-style-type: none"> ■問合せ及び見学への対応について、パンフレット、ホームページ等に明記している。 ■問合せ及び見学の要望に対応し、個別利用者のニーズに応じた説明をしている。 |
| (評価コメント)事業所の問い合わせについては、パンフレットに支援内容や利用開始の流れなど明記している。問い合わせについては電話で対応し、職場見学は、安全面に配慮しながら管理者が案内して、職場体験などをしてもらうようにしている。ガラスや瓶などの選別作業について、利用者の特性に合わせて丁寧に説明している。 | | |
| 23 | サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。 | <ul style="list-style-type: none"> ■サービス提供内容や重要事項説明書等は、分かりやすい資料となるように工夫している。 ■サービス提供内容、日常生活の決まりごと、重要事項等を分かりやすく説明している。 ■サービス提供内容や利用者負担金等について利用者の同意を得ている。 |
| (評価コメント)サービス開始については、重要事項説明書の内容に沿って、サービスの目的・運営方針、サービス提供の内容、要望・苦情などの申し立て窓口などについても説明をしている。就労に向けて、体力や忍耐力が必要であることも丁寧に説明している。また、支援内容に必要な諸経費や食事提供負担金などについても詳しく説明して、同意を得ている。 | | |
| 24 | 一人ひとりのニーズを把握して個別支援計画を策定している。 | <ul style="list-style-type: none"> ■利用者及びその家族の意向、利用者の心身状況、入所前の生活状況等を定められた手順に従ってアセスメントを行っている。 □利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きや様式を工夫し記録している。 □当該個別支援計画に係る職員が連携し、多角的な視点より計画が検討されている。 ■計画は利用者や家族等に説明し同意を得ている。 |
| (評価コメント)利用者の生活面・健康面などの情報や就労に関する希望などを聞き取り、個別支援計画を作成している。利用者や家族の意向を考慮して、サービス内容を検討している。今後は定期的な会議を設け、他職員の意見や業務・支援日誌などから得た情報を個別支援計画に反映できるような取り組みが求められる。 | | |
| 25 | 個別支援計画の内容は適切であるかの評価・見直しを定期的に実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> □当該個別支援計画の見直しの時期を明示している。 □見直しはサービス提供に係わる職員全員の意見を参考にしている。 ■容態の急変など緊急見直し時の手順を明示している。 |
| (評価コメント)個別支援計画は、定期的に支援の実施状況などを確認している。利用者や個別支援計画の支援内容を確認しながら、目標が達成されているか検討したり、利用者の状況や適性を考慮して支援内容を変更した場合は、家族や利用者にも説明することも必要と思われる。 | | |

| | | |
|---|--|---|
| 26 | 利用者のサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。 | <input type="checkbox"/> 計画の内容や個人の記録を、支援を担当するすべての職員が共有し活用している。 <input type="checkbox"/> 個別支援計画の実践に向け、具体的な内容の工夫が見られる。 <input checked="" type="checkbox"/> 申し送り・引き継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有している。 |
| (評価コメント) 支援内容については業務日誌に記載している。毎日の朝礼で必要事項を申し送りしており、緊急度の高い危険情報や気づきなどは、業務中でも職員が随時話し合い、共有している。職員間は良好で話しやすい職場環境となっている。今後は、個別支援計画の実践内容を詳細に記録し、職員間で情報共有できるような取り組みが期待される。 | | |
| 27 | 【個別生活支援】 日常生活上の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。 | *個別支援計画に従って利用者の主体性を尊重した生活支援を行っている。 *重度の障害者に利用者の主導による個別の包括的・継続的な生活支援を行っている。 *食事、入浴、排泄等の支援は、利用者の状況やペースに合わせて行っている。 *身体介護、家事支援、移動支援等は、利用者の状況やペースに合わせて行っている。 |
| (評価コメント) 非該当 | | |
| 28 | 【居住・入所支援】 居住・入所施設において、日常生活の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。 | *食事、入浴、排泄等の支援は、利用者の状況やペースに合わせて行っている。 *利用者が安定した睡眠をとる事が出来るよう支援を行っている。 *生活環境の整備をしている。 *利用者が暮らしの幅を広げることができるよう、様々な体験の場を提供している。 *日中サービス事業者と連携し、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている。 |
| (評価コメント) 非該当 | | |
| 29 | 【日中活動支援】 利用者が自立した生活を地域で送ることができるよう、日常生活訓練や機能訓練や生活についての相談等の支援を行っている。 | *地域で安定した生活を送ることができるよう、継続して相談等の支援や関係機関との調整を行っている。 *利用者が意欲的に目標とする力を身につけることができるよう工夫している。 *利用者が趣味や創作活動等を通じて社会参加活動が出来るように取り組んでいる。 *自立した生活に向けて、利用者一人ひとりに応じた日常生活訓練や機能訓練を行っている。 |
| (評価コメント) 非該当 | | |
| 30 | 【就労支援】 就労に必要な知識の習得や能力向上のための訓練等を行い、就労の機会の提供を行っている。 | <input type="checkbox"/> 利用者が自発的に働く意欲を持てるような取り組みを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 生活リズムや社会人としてのマナーの習得等の支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 職場見学や実習等、職場にふれる機会を取り入れた支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 働くうえで必要な知識の習得及び能力向上のための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 賃金等のしくみについて、利用者に公表し、わかりやすく説明している。 <input type="checkbox"/> 商品開発、販路拡大、設備投資等賃金アップの取り組みを行っている。 |
| (評価コメント) 作業内容が手順通りに進められているか、利用者一人ひとりについて対応している。4人から5人でチームを組んで、チームの中で役割を持って働き、就労に繋がるように支援している。公共職業安定所・生活支援センターなど各関係機関と連携を取りながら就労支援をおこなっている。 | | |
| 31 | 利用者を尊重したコミュニケーション支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者のコミュニケーション能力を高めるため、サービス実施計画や支援計画を策定し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達に制限のある人の場合、日常的な関わり合いを通じてその人固有のコミュニケーション手段やサインの発見と確認に心がけている。 <input type="checkbox"/> 意思伝達に制限のある人の場合、個別のコミュニケーション手段の検討とそれに基づく支援がなされている。(コミュニケーション機器の用意を含む) <input type="checkbox"/> 意思伝達に制限のある人の場合、担当職員・ソーシャルワーカー・臨床心理士等の連携により、その人の意思や希望をできるだけ正しく理解しようと努力している。 <input type="checkbox"/> 必要性や要望に基づいて、コミュニケーションの取れる知人、代弁者、手話通訳者等を受け入れている。 |
| (評価コメント) 職員が利用者の作業などの様子を見守りながら、日常のコミュニケーションの中で把握した情報を個別支援計画に反映するようにしている。意思伝達が難しい場合は、個別に関わる機会を多く設け、丁寧にコミュニケーションが図れるよう努めている。 | | |

| | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 32 | 利用者の健康を維持するための支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> 健康維持のための、体調変化時の対応、服薬管理、摂食・嚥下障害のケア、口腔ケア、褥そう予防等のマニュアルを整備し、適切に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の健康状態に注意するとともに、利用者からの相談に応じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 健康状態の情報を、必要に応じて家族や医療機関から得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 通院・服薬・バランスの良い食事の摂取について助言や支援を行っている。 |
| (評価コメント) 血圧や脈拍などのバイタルチェックを定期的におこなうとともに、協力医療機関とも連携しながら利用者の健康管理をしている。また、日常的に職員が声掛けをするなど、体調に配慮している。 | | |
| 33 | 利用者の家族等との連携、交流のための取り組みを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族に対し定期的及び随時の状況報告書の提出又は連絡を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者の家族の参加できる懇談会、家族会等を実施し、意見を聞いている。又は利用者等の家族との連絡帳等で双方向の意思伝達をしている。 <input type="checkbox"/> 利用者の家族への行事案内又は参加が確認できる行事を実施している。 |
| (評価コメント) 利用者の体調不良の時や作業に関する現状報告など、必要に応じて家族に連絡して情報を共有している。管理者は、「家族会」の設立を予定しており、今後さらに家族と連携したいとしている。 | | |
| 34 | 預り金について、適切な管理体制が整備されている。 | *利用者の預り金については、その取り扱い規約を定め、責任の所在を明確にしている。 *金銭等の自己管理ができるように配慮されている。 *自己管理ができる人には、金銭等を保管する場所と設備を提供している。 *自己管理に支援を必要とする人には、小遣い帳を活用するなどして、自己管理に向けた学習を支援している。 *金銭管理技能を含む経済的な対応能力を高めるための学習プログラムが用意されている。 |
| (評価コメント) 非該当 | | |
| 35 | 感染症の発生時などの対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | <input type="checkbox"/> 感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関するマニュアル等を整備している。 <input type="checkbox"/> 感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 感染症及び食中毒の発生事例、ヒヤリ・ハット事例等の検討している。 |
| (評価コメント) 新型コロナ対策として消毒液を設置し、利用者が来所した時には手指消毒の徹底に努めている。今後は感染症マニュアルの整備や嘔吐・下痢などの処理について学ぶなど、さらなる利用者の安全確保に取り組むことが期待される。また、感染症、食中毒発生、ヒヤリハット事例の検討などについて職員研修も必要と思われる。 | | |
| 36 | 事故などの利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 事故の発生又はその再発の防止に関するマニュアル等を整備している。 <input type="checkbox"/> 事故事例、ヒヤリ・ハット事例等の原因を分析し、再発予防策を検討し実行している。 <input type="checkbox"/> 事故の発生又はその再発の防止に関する研修を実施している。 |
| (評価コメント) 作業開始時は、ヘルメット・ゴーグル・安全靴などについて、一人ひとりの装着状況を確認をしている。事故が発生した場合は、医療センターなどの機関と連携を図り、適宜に対応している。起きた事例については、事故・ヒヤリハットとして、原因を分析して、事故防止策を検討している。事故防止マニュアルの整備や事故発生やヒヤリハットなどに関する職員研修の実施などで、職員に危険予知を意識づけることも期待したい。 | | |

| | | |
|--|--|--|
| 37 | 緊急時(非常災害発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ■非常災害時の対応手順、役割分担等について定められたマニュアル等を整備し、周知を図っている。 ■非常災害時に通報する関係機関の一覧表等を整備している。 ■非常災害時の避難、救出等対応に関する研修・訓練を実施している。 <input type="checkbox"/>地域の消防団、自治体等との防災協定を結んでいる。 <input type="checkbox"/>非常災害時のための備蓄がある。 <input type="checkbox"/>主治医、提携先の医療機関及び家族、その他の緊急連絡先の一覧表等を整備している。 |
| (評価コメント) 定期的に避難訓練を実施している。今後は、緊急時対応マニュアルの整備なども期待される。災害時に備えて、備蓄品や避難用持ち出し袋などもあるとよいと思われる。 | | |
| 38 | 地域や地域関係機関との交流・連携を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ■地域との交流行事、地域資源の活用等利用者が地域の一員として生活出来るように支援している。 <input type="checkbox"/>ボランティアの受け入れ体制やマニュアル等が整備されている。 <input type="checkbox"/>実習生の受け入れに関する基本的な考えを明示、体制を整備している。 ■地域の社会資源等の情報を収集し、利用者に提供し活用している。 |
| (評価コメント) 行政機関と連携し、ごみ処理に関わる業務委託を受け、障害者の就労支援を積極的におこなっている。地域との関係作りをしながら、利用者が社会の中で生活ができるように支援している。また、地域の小学校5校からの社会科見学(ゴミ収集・運搬などの作業様子)も受け入れている。 | | |